

(地域が有する資源)

(農村・中山間地)

産業 農業、林業
集落営農(九重野)
かぼす、サフラン
わかば農業公社
竹田研究所

人材 竹田研究所

観光資源 名水河川プール、緒環
エノハ、田楽

自然環境 名水、竹田湧水群
祖母傾山連山
神原溪谷

文化歴史 円形分水、白水ダム
明正井路

(城下町)

産業 観光
技術 姫だるま
荒城の月(菓子)
三笠野(菓子)

人材 田能村竹田(南画)
瀧廉太郎(音楽)
広瀬武夫(軍人)
朝倉文夫(日本画)
佐藤義美(童謡)

観光資源 岡城址、旧竹田荘
武家屋敷
温泉(花水月)
頭料理

ソフト資産 岡城桜まつり
竹楽

水と森林資源を
活かした清々した
郷づくり

【ツーリズム資源の発掘】

(伝統型) ・従来からの観光資源を磨く(岡城址)
(再発見型) ・農業体験
・農産物を地元で加工した食品
・地域・自然が持つ魅力の再発見
(入田湧水群、白水ダム、円形分水)

(歴史掘起し型) ・紫草の復活
・田楽料理

(新規創出型) ・地域に核となる施設
(温泉施設花水月、道の駅)

【まちなか全体が舞台のイベント】

(まち総出のイベント)
・竹楽
・農と食の博覧会
・岡藩城下町雛まつり

(地域の個性を生かしたイベント)
・盆踊り
・むら祭
・農事 等々

竹田研究所
商業・農林業・観光を
三位一体で振興
5つの委員会
・情報発信
・農村型観光
・城下町観光
・食・特産品開発
・研修

エコミュージアム構想

基本方針
城下町としての歴史的な文化遺産や恵まれた農村の自然を活かし、市全体を博物館として捉え、訪れる人々に市民の生活と環境を見てもらいながら体験・交流をすすめる

【竹田ならではのホスピタリティ】

・ボランティアガイド委員会
・インタープリターの養成
・ホスピタリティの涵養
・案内書・案内板の整備

【ツーリズムを支える産業の再生】

・集落営農(九重野地区他6ヶ所)
・1.5次、2次農産加工(15ヶ所)
・直販(道の駅・アンテナショップ12店舗)
・地産地消・スローフード
・まちづくり会社「むらさき草」設立

【外との協力、外への情報発信の取組】

(外からの人の呼び込み)
・竹田ファンクラブ
・研修受け入れ

(近隣都市への情報発信)
・とれたて農産物の販路開拓(アンテナショップ)
・田舎・城下町体験モニターツアー
・メディアとの連携
・メールマガジン発行

